



©Yuki Asada

## アフリカのおしゃれアイテムで輝きを

南部アフリカ、モザンビークの世界遺産「モザンビーク島」。手つかずの自然が残るこの島の入口から内陸に200キロ行った所に、北部最大の商業都市ナンブラはある。

そこでひとときわ目をひくのが、地元の女性たちが身に着けている洋服。「カブラナ」と呼ばれる色鮮やかな布で、その日の気分やイベントに合わせてお気に入りの柄を選び、おしゃれに着こなしている。「あら、そのカブラナ素敵ね」。街中では、そんな会話があちこちから聞こえてくる。

商業の中心地とはいえ、まだまだ雇用が少なく、貧しい人も多いナンブラ。そこで青年海外協力隊の澤本拓也さん

は、このおしゃれアイテムをビジネスにできないかと考えた。「彼女たちはとても手先が器用でセンスも良い。カブラナを使ってアクセサリーを作れないかと提案しました」。

最初は簡単なシュシュ作りから。そのうち、ピアス、ブレスレット、カチューシャなど、彼女たちのアイデアで商品のラインアップも増えてきた。「グループで製作することで、地域の団結力も高まりました」と澤本さん。市内の市場やイベントでの売れ行きも上々だ。

モザンビークの“味”が感じられるカラフルでおしゃれなアクセサリーの数々。今日はどれを着けよう…なんて、毎朝鏡の前で悩むのも楽しい。



子育てをしながらの作業。洋服と同じ柄のアクセサリーを身に着けるのがおしゃれ!

★モザンビークのアクセサリーを8人にプレゼント! → 詳細は38ページへ

★アフリカ雑貨「キリンの夢」([www.facebook.com/kirinnoyume](http://www.facebook.com/kirinnoyume))でも購入可能。

